



学校だより
第11号

岐阜聖徳学園大学附属小学校
岐阜市柳津町高桑西1-1

一学期のまとめの月です

学習と生活の両面から振り返りたいです

早いもので今年も最後の月となります。「師走」と聞くだけで気ぜわしく感じ、大人は忙しく過ごすことが多いようです。

子どもたちにとってもクリスマスや年末年始を控えた楽しい季節であると思います。

そういった時期だからこそ、二学期の生活を振り返り、これまでの成長を確かめたいものです。

街の中の楽しい雰囲気、浮き足立ってしまうことのないように過ごさせたいと願っています。

学校説明会の中で保護者の方がこのような事を心配されていました。

長い一学期でしたので、各教科とも多くの単元が進みました。チャレンジの間には発展的な学習を進めたり、検定に向けてこれまでの学習をまとめたりする学習も行ってきています。

「継続は力なり」といいますが、どんなに小さな事も続け、積み重ねることで大きな力になっていきます。単元テストやドリル、ノートなどの様子からつまづき

「継続は力なり」といいますが、どんなに小さな事も続け、積み重ねることで大きな力になっていきます。単元テストやドリル、ノートなどの様子からつまづき

ところが大きいと指摘する人もあります。

そこまでの深刻な問題は別にしても、人間関係がスムーズにいかないことを気に病む若者は多いと言われます。

しかし、人とうまく関われない若者は、大人になつて急に人間関係が苦手になつたわけではありませぬ。子どもの時から

の人と関わる体験の積み重ねが乏しかったのではないのでしょうか。

新校舎での生活を重ねる中で、昼休みの子どもたちの遊びの様子が変わってきました。

広いグラウンドの中で、最初は個人遊びをしていた子どもたち。学年を越えて遊ぶ子もいました。

を発見し、早めに復習するなどの対応をしたいものです。お気づきの内容は個別

懇談会の際に担任とよく相談していただき、冬休み、三学期の生活につない

ていきたいです。

このところ、学級(学年)の仲間と遊ぶ姿をよく見かけます。

自分の学校での生活の基盤が学級にあることを自覚し、まず同級生と楽しく過ごす。更に上級生下級生関係なく、学校の仲間として仲良く過ごす。

遊びの中から社会性や協調性を学んでいるのだと思うのです。

共感性・責任感を大切に人とのつながりをつけるのに不可欠なのが共感性です。相手が自分の気持ちを理解してくれるということは、誰にとっても嬉しいことです。

人の気持ちの分かる子は、みんなから好かれ、頼りにされます。

また、社会に出て人とうまくやっていくには、信頼関係を築くことが大切で、信頼関係の基礎となるのが責任感です。

二学期のお子さんの生活の中には、仲間と協調性をもつて生活したこと、約束を守って責任を果たした事など「輝く姿」がたくさんあったはず。

毎日の生活の中では「宿題はすんだの?」「早くしなさい!」という言葉が多くなりがちですが、是非お子さんの生活の中からよさを確かめ

合つ事したいものです。

合つ事したいものです。

「ご協力ありがとうございました」

「うぐいしました」

運動会の際には、保護者の皆様には、育友会バザーで大変お世話になりました。ありがとうございました。貴重な収益の使途について検討を重ねて参りましたが、AEDを設置することにさせていただきます。



AED(自動体外式除細動器)とは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器です。使用することがないことが一番ですが、万一の事態に備えて、小児用パッドを購入し、保健室に設置しました。職員研修を行い、使用について対応してまいります。

入賞
おめでとうございます

デジタルアート
チャレンジコンテスト
(総務省 東海総合通信局主催)
優秀賞 4年車 英見乃
タイトル:
「金華茶屋」

新聞などの報道によると今年インフルエンザの流行が例年より早いようです。

校内ではインフルエンザの診断を受けた子はいませんが、先々週には羽島市内で学級閉鎖の措置がとられています。

先日お配りした「ほけんだより」でも風邪とインフルエンザについてお知らせしました。

各家庭でも早めの対応をお願いします。

よろしく願います

十二月十七日(月)より個別懇談会を実施します。ご多忙中、時間の調整をしていただきありがとうございます。

短時間ですが担任からお子様のご学校生活についてお伝えし、今後更によさを伸ばしていくきっかけとさせていただきます。